

平成 17 年 度

航路標識整備事業関係補正予算配分概要

目 次

. 平成17年度航路標識整備事業関係補正予算配分方針	1
. 17年度補正予算配分総括表	2
. 事業別概要	3
. 配分箇所具体事例	5

平成18年2月

海上保安庁

・平成17年度航路標識整備事業関係補正予算配分方針

平成17年度航路標識整備事業関係補正予算については、平成17年9月に発生した台風14号による被害の早期復旧のために災害復旧費が計上されるとともに、災害防止対策及びアスベスト対策として一般公共事業費が計上されたところである。

本補正予算の配分に当たっては、台風、地震等の自然災害が発生した場合に甚大な被害が想定される航路標識の災害防止対策及びアスベストにより安全上問題のある航路標識施設のアスベスト除去のため緊急に必要な事業に重点的かつ効率的な配分を行うこととする。

平成17年度補正予算配分総括表

[総事業費]

(単位:百万円)

区分	災害対策			アスベスト対策			合 計		
	本庁配分	一括配分	計	本庁配分	一括配分	計	本庁配分	一括配分	計
航路標識 整備事業 直轄	731	0	731	101	0	101	832	0	832
合 計	731	0	731	101	0	101	832	0	832
直轄	731	0	731	101	0	101	832	0	832

(注)総事業費ベースである。

・事業別概要

航路標識等の災害対策

1. 背景・目的

平成17年に全国各地で多発した強い地震及び九州南部に上陸した大型台風により、航路標識施設の一部流失、損壊、亀裂等の被害が発生したことに鑑み、今後甚大な被害が想定されている緊急性の高い箇所について、再度災害防止のための耐波浪緊急補強及び緊急震災補強等を行い、安定的な海上輸送ルート及び船舶航行の安全確保を図る。

2. 平成17年度補正予算額

事業費 731百万円
国費 731百万円

3. 事業（経費）の概要

(1) 航路標識の再度災害防止のための耐波浪補強

たじりこうしまとうだい

田後港鵜島灯台（鳥取県岩美郡）など17箇所 140百万円

(2) 異常気象の下での航路標識への確実な電力供給の確保

きりたつぷこうひがしぼうはていとうだい

霧多布港東防波堤灯台（北海道厚岸郡）など52箇所 313百万円

(3) 航路標識等の倒壊や損壊を防止するための耐震補強

いそさきとうだい

磯崎灯台（茨城県ひたちなか市）など19箇所 179百万円

(4) 旧式の航路標識用灯器の免震化

とどがさきとうだい

鮎ヶ崎灯台（岩手県宮古市）など9箇所 99百万円

航路標識等のアスベスト対策

1. 背景・目的

建築物に吹付けられたアスベストについては、その劣化や損傷等により飛散する粉じんが重大な健康障害を引き起こすことが社会問題となっており、将来飛散するおそれのある航路標識等の施設についてアスベスト除去等の対策を講じる。

2. 平成17年度補正予算額

事業費 101百万円

国費 101百万円

3. 事業（経費）の概要

航路標識等のアスベスト対策

みやこしま
宮古島DGPS局（沖縄県平良市）など22箇所 101百万円

・配分箇所の具体事例

1. 災害対策

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
鳥取県	たじりこうしまとうだい 田後港鷓鴣島灯台	百万円 14	<p>事業内容 田後港鷓鴣島灯台の耐波浪補強</p> <p>完成時期 平成17年度末</p> <p>緊急性及び効果 平成17年9月の台風14号により標識施設が流出する等の被害を受けたことにより、波浪の影響を強く受ける場所に設置されている標識について一斉点検を行った結果、田後港鷓鴣島灯台等において基礎部に亀裂等が発生し、耐波浪強度が低下していることが確認されたことから、緊急に耐波浪補強整備を実施し、安定的な海上輸送ルート及び船舶交通の安全を確保する。</p>
北海道	きりた っぶこうひがしほうはていとうだい 霧多布港東防波堤灯台	3	<p>事業内容 霧多布港東防波堤灯台の太陽光発電化整備</p> <p>完成時期 平成17年度末</p> <p>緊急性及び効果 平成17年台風14号の暴風、波浪により、浦港南防波堤灯台(兵庫県淡路市)の電気供給配電線路が断となる事故が発生した。このため、風浪の影響を受けやすく、配電線路断による消灯事故が懸念される緊急を要する箇所について、災害に強い電源への移行(太陽電池化)整備を実施し、標識機能の安定維持を図る。</p>
茨城県	いそさきとうだい 磯崎灯台	13	<p>事業内容 磯崎灯台の耐震補強</p> <p>完成時期 平成17年度末</p> <p>緊急性及び効果 平成17年7月に発生した千葉県北西部及び茨城県南部地震により亀裂が発生した磯崎灯台において外壁及び内壁に亀裂が発生したことから、地震発生が危惧される東海・東南海・南海地震地域において耐震調査を実施した結果、耐震性が低下した箇所について、緊急の補強工事を実施し、安定的な海上輸送ルート及び船舶交通の安全を確保する。</p>
岩手県	とど さきとうだい 鮭ヶ崎灯台	13	<p>事業内容 鮭ヶ崎灯台機器の免震化</p> <p>完成時期 平成17年度末</p> <p>緊急性及び効果 平成17年3月、福岡県西方沖で発生した地震において、水銀槽式回転装置を有する部埼灯台(福岡県北九州市)で水銀が飛散し、灯火に異常をきたす障害が発生した。飛散に伴う槽内水銀量の低下は、回転装置の駆動不動を引き起こし、消灯事故が発生することから、同様の装置を有する沿岸灯台において、免振装置を整備し標識機能の安定維持を図る。</p>

2. アスベスト対策

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
沖縄県	みやこじま きよく 宮古島DGPS局	百万円 26	<p>事業内容等 宮古島DGPS局の施設内アスベスト除去</p> <p>完成時期 平成17年度末</p> <p>緊急性 人が、空気中に浮遊するアスベスト粉じんを吸入した場合、健康被害を引き起こすことが指摘されており、航路標識施設においても、吹き付けアスベスト等が使用されていることが判明したため、早急に除去の措置を講ずる。</p>